

農地から人づくり、地域づくりへ



リバーバンク森の学校（旧長谷小学校）

地区概要

旧川辺町の水田を中心とした稲作が盛んな中山間地域。4区17集落（自治会）で構成される。小学校周辺に人口が集中し、山間部に小規模集落が散在している。

コミプラ設立の経緯

平成30年に市のモデル地区に選定。住民アンケート、ワークショップ等を行い、令和2年2月に「高田未来づくり100年計画書」を策定（コミプラ設立）。

公民館長などの中心的なメンバー6名で構成

され、基本的な方向性を話し合うコア会議と、区長・若者代表など16名で構成され、具体的な事業などを話し合うクルー会議を中心に、壮年団、集落支援員、女性グループなどと連携して活動を行っている。



クルー会議での話し合い

特徴的な活動

①環境整備によるよりよい地域づくり

高田地区は、高齢化により各集落や個人で農地などの草払いを行うことが困難になっている。将来的には、重機等を補助事業を活用して購入し、作業を有償ボランティアで行う「環境整備隊」として収益事業とすることを目指しており、令和3年度からは試験的な事業を実施している。

地区としては、まずはこの事例を、自治会ごとでは解決できない課題を地区全体で解決できる事例として成功させることにより、住民の意識を変えていくことを期待している。



環境整備の様子

②地元産品の販売で農業の活性化

令和3年度から、地区内で生産される野菜や豆腐などの販売を行う「軽トラ市」を開催しており、住民の農業収入と生産への意欲を高めることにつながっている。

地区外の人も訪れるようになっており、今後は、販売品目を野菜だけでなく、大豆やソバなど他の種類や加工品へも拡大し、また、規約等を定めるなどして体制を整え、自主財源確保の手段としていきたいと考えている。



軽トラ市

今後の展望（コミプラの声）

「高田未来づくり100年計画」の16のプロジェクトの1つである子育て環境プロジェクトの検討を進め、子育て環境の改善を図っていきたく考えている。

また、南九州市の地域コミュニティは、自治会、区、地区の3つの組織があるため、重複する活動があるなど、活動が円滑に進まない面がある。今後ますます人口減少が進む中で、地域活動をより効率的に進められる組織・体制づくりに取り組んでいきたい。

南九州市から一言

高田地区は農業分野で表彰を受けるほど、壮年世代の人材が活躍しています。市としては、「高田未来づくり100年計画」に従って、計画的にプロジェクトが実行できるように支援していきたいと考えています。

利用した補助金など

- ・コミュニティ・プラットフォーム形成促進事業（県）（R元・2年度）
- ・南九州市まちづくり事業（市）（R元年度～）



高田地区公民館 Facebook



高田まち歩きマップ

Passion

活動しやすい 組織づくりを行うべし！